

耐震補強工事中 緑区役所の業務は、平成28年5月頃まで一部を除き仮設分庁舎(緑消防署隣)で行っています。仮設分庁舎:戸籍課、保険年金課、

高齢・障害支援課、こども家庭支援課、生活衛生課、広報相談係、区会計室、銀行派出所、個人番号カード交付窓口(予約制) 仮設分庁舎別棟:税務課

特集2 みんなで支える子どもの育ち

～地域・家庭・学校のつながりで
みどりっ子の未来を育む～

登場人物



日常生活の中で、子どもたちは多くの地域の人たちに見守られ、支えられながら育っています。

登下校時や授業の時間、放課後、休日などに、子どもたちと地域の人たちとどのように関わり合い、触れ合っているのでしょうか。活動の一部を見てみましょう。

登下校



私たちが、学校に行くときや、帰るときに、大人の人たちが、道路に立ってくださいます。いつも、声をかけてくれるんだよ!



寒い冬の朝も子どもたちの登校を見守る、オレンジ帽の「いいはる見守り隊」(新治小)

～登下校時の見守り活動～

「いいはる見守り隊」や「ながつた学援隊」のように、保護者や地域の人たちによるボランティアが、登下校時の見守りなど、子どもたちの安全を守る活動に関わっている例は多く、現在、緑区内で9チームが活動しています。

横浜市教育委員会と横浜市学校保健会では、毎年「交通安全功労者」「交通安全協力団体」の表彰を行っており、平成27年度は、長津田第二小と山下みどり台小で、登下校時の見守り活動をしている地域の人たちが表彰されました。



交通量の多い道路に立ち、毎日子どもたちの下校を見守る「ながつた学援隊」(長津田小)

授業の時間



写真のパンジー、きれいでしょ? この前の授業の時間に「花いっぱい活動」に参加して、僕たちが植えたんだ。苗を植えようとしたら、土の中から幼虫がはい出てきて、みんな驚いてたな～。車が多い道路だったけれど、「交通安全協力者」の人たちが見守ってくれたから、花植えに集中できたよ。



沿道を飾る花

花を植える生徒

～花いっぱい活動(上山小・中山小・森の台小・中山中)～

自然と地域を愛する心を育み、子どもたちの健全育成を図ることを目的として、中山中学校区の小中学生・保護者・教職員・地域住民の有志で構成される「花いっぱい会」等により行われている植栽活動です。大勢の人の厚意に支えられて、20年以上続いています。

この人に聞く!

花いっぱいの会(中山中学校区)会長 米川 和子さん



花を植えた後、子どもたちは自分の植えた場所の様子を気にしてくれれます。私が花いっぱい活動を行っている中山地区では、落ち着いて素直な子どもが多いと感じており、見守る大人の思いが伝わっているように思います。

自治会からの寄付金で球根を買ったり、沿道のお宅やマンションなどから水を頂いたり、皆さんの厚意が活動を支えてくれています。

美しく保たれている北八朔公園のボランティア花壇



公園の中でも子どもたちへの思いが花開く

～北八朔公園の緑化ボランティア花壇(緑が丘中学校)～

北八朔公園の中には、緑が丘中学校の緑化ボランティア花壇があります。公園愛護会の皆さんが、生徒の行う花植えや手入れ、花壇の掃除などを手伝ったり、日々の花の水やりを協力してくれています。



授業の時間



この間、私の学校に「横浜マイスター」の人が来てくれました。私はフラワーアレンジメントの講座を受けたくてです。仕事の話を聞いたり、実際にフラワーアレンジメントの実習をしたり、とても有意義な時間でした。将来どんな仕事をしたいのか、私もそろそろ真剣に考えなくちゃ!

～職業講話(東鴨居中)～

横浜マイスターの協力で、マイスターの仕事についての話を聴くほか、講話の内容に沿った実習を体験する授業を実施しています。フラワーアレンジメント以外にも、エプロン作りやカレーの調理、ミョウの製作等の実習があり、生徒たちに大好評です。*横浜マイスター 技能・技術の継承や普及等の活動を行う、市内在住の手仕事・手作業主体の卓越した技能職者(本市が選定)



フラワーアレンジメントを体験する生徒

多くの中学校では、地域の人たちの協力で職場体験や職業講話を実施しています。

これは「キャリア教育」の一環で、生徒たちが働くことの意義や尊厳を理解し、将来に夢や希望を持てるように行われているものです。

この人に聞く!

横浜マイスター 小泉 徹さん(花卉装飾)



東北反在任、株式会社白菊花園代表取締役。内閣総理大臣賞等の受賞経験多数。ダイヤナ妃来日時には生花装飾を担当。東鴨居中学校をはじめ、市内中学校の職業講話に協力

花は生き物であって、最後は枯れてしまいますが、水やりや手入れをすることによって長生きすることができます。そのいのちの過程を学ぶ機会になればと思って教えています。

1+1=2の世界ではなく、自分の思いや気持ちを込めることで作品が出来上がります。その経験を通して、感性や思いやりの気持ちを育ててほしいです。

生徒から「実習で作った作品をお母さんにあげたらすごく喜んでくれた」というような手紙をもらって、その素直な気持ちに感動します。

この人に聞く!

横浜マイスター 荒川 昭男さん(造園)



緑区在住、有限会社庭工荒川創業者。上野寛永寺、善性院、林光院、東照宮などの庭園を管理するほか、維持管理未実施地の修復にも携わる。旭区南希望が丘中学校をはじめ、市内中学校の職業講話に協力

職業講話では、機械がない時代から携わってきた職人の思いを感じてもらうため、重たい礎石を運ぶ体験もやっています。1~3人で運べない石が4人で力を合わせてやっと運べるようになった、その感動が学びになります。

情報量の多い時代に、やる前から断念せずに、一つのことをやり遂げるという信念が、大人になっても残ってくれば良いと思います。

一見ドライに見える子でも豊かな感情があって、その感情を持続させる環境づくりが我々の責任だと思って教えています。

放課後



私は、学校のあと、家の近くの「放課後児童クラブ」に行くの。家族が迎えに来てくれるまで、宿題をして、みんなと遊んだり、おやつを食べたりしてんだよ。

放課後児童クラブとは、就労等の理由で昼間保護者が家にいない子どもたちが、家庭的な雰囲気の中で安全に豊かな放課後を過ごすための居場所です。現在、緑区内には10のクラブがあります。生活環境や児童の数はさまざまですが、それぞれの特徴を生かして児童に放課後の居場所を提供しています。保護者だけでなく、自治会役員や民生委員・児童委員、青少年指導員など多くの人の協力によって運営され、長い歴史を刻んでいます。



中学児童育保なかよし会にて

日曜日



日曜日に友だちと一緒に、ボランティアで鴨居連合自治会主催の「鶴見川クリーンアップ運動」に参加したんだ。鶴見川沿いでごみを拾ったんだけど、川に落ちないように、地域の人々が注意してくれたよ。ごみを探すが、なんだか宝探しみたいで楽しかった! 1つの間にかごみ袋がいっぱいになってたよ。

～鶴見川クリーンアップ運動(鴨居中学校区)～

鶴見川周辺の清掃を通じて、自分たちの暮らしの場である鶴見川流域への愛着を育み、地域の魅力を再発見することを目的に、小学生も参加しています。



汗だくで清掃活動

地域のいろいろな人が子どもの「育ち」を応援しているんだね!



夏休み



夏休みに「中学生のベトナム・カンボジア視察派遣」に参加して、日本との文化、暮らしの違いを肌で感じたの。世界遺産の遺跡に行って感動したり、「戦争証跡博物館」に行って平和に対する意識が変わったり、貴重な体験ができました!

～中学生のベトナム・カンボジア視察派遣(霧が丘中学校区)～

霧が丘連合自治会では、さまざまな形で地域の子どもの育成を支援しています。中学生のベトナム・カンボジアへの視察派遣は「異文化を学び、国際感覚を身につける」目的で、実施されました。



遺跡の前で